

澤田 有希子

大阪人間科学大学 助教

## 介護職員の職務ストレス測定尺度の作成と改良版バーンアウト因果モデルの構築に関する実証的研究

本研究では、介護労働者の離職の原因とされるバーンアウトの要因となるストレスの測定尺度の作成・開発を行った。先行研究に基づき、50 項目によって構成されたストレス測定項目を作成し、これを因子分析（最尤法、プロマックス法）によって検証し、さらにバーンアウトの3 つの下位尺度との関連性を重回帰分析によって検証した。

調査は、大阪府下のすべての特別養護老人ホーム69 施設の施設介護職2116 名を対象として実施され、有効回答数は516 部（回収率24.4%）であった。因子分析の結果、ストレス測定尺度は36 項目によって構成され、7 因子（「上司・組織とのコンフリクト」「利用者と家族とのコンフリクト」「報酬」「仕事の負担」「同僚とのコンフリクト」「公平性」「役割あいまい」）が抽出された。

重回帰分析の結果、情緒的消耗感では、「役割あいまい」「仕事の負担」「報酬」が、脱人格化では、「役割あいまい」「同僚とのコンフリクト」「利用者と家族とのコンフリクト」が、個人的達成感では「役割あいまい」が有意な関連を示した。